

令和元年度 第2回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和2年2月4日(金) 13:30~15:30

ところ 本庁舎 1階 多目的ホール

出席者 委員 後藤会長、元家副会長、氏原委員、延味委員、齋藤(美)委員、齋藤(光)委員 嶋田委員、高谷委員、田邊委員、永山委員

岡山市 林都市整備局長、栗田都市・交通・公園担当局長、平澤都市整備局次長、桐野都市整備局参事監、番場道路部長、加藤道路計画課長、岡本下水道河川局次長、山川下水道河川計画課長
事務局：都市企画総務課

○議 事

新たなみちづくり計画の骨子について

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 人中心の道路整備や自転車に関すること、既存の道路空間を活用するものなどの記載があった方が良いのではないか。

(回答) 目標の中でキーワードを折り込み、具体的には施策展開の中で記載していく。

(意見) 事業の優先順位を決めるポイントを記載した方が良いのではないか。

(回答) 複数の施策に寄与すること(事業効果)で優先順位は高くなるので、それがわかるような記述を考えるが、その他の総合的な判断もあるので、優先順位は表現しづらい。

(意見) 現計画の目標達成度について、達成していなくても実績がわかりやすいように記載したら良いのではないか。

(回答) 進捗がわかるような形を考える。

(意見) 目指したい「みちづくり」のビジョンが明確に見えてこない。

(回答) 将来目指す「みちづくり」のビジョン(コンセプト)を記載する

○今回の議論について新しいみちづくり計画に反映して欲しい

○議 事

道路事業に係る再評価について(県道岡山赤穂線)

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

(意見) 費用対効果について、事業期間が延びた場合等の感度分析は行っているか。

(回答) 国の費用便益分析マニュアルに沿って、交通量及び事業費、事業期間が変動した場合について感度分析を行い、費用便益比の変動を確認している。

(意見) 事業を進めていただきたい。

(回答) -

○審議結果 現計画を継続する市の対応方針は妥当である。

○議 事

下水道事業に係る事後評価について（庭園都市おかやま水環境整備計画）
表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見）目標値と実績値に差が出た要因に書かれている内容は達成が遅れた理由であり、達成不達の理由としてふさわしくないのではないか。

（回答）書きぶりを修正する。

（意見）普及率は分流式のみの区域を対象にしたものか。

（回答）合流式の区域についても含んだものである。

（意見）岡山市の普及率は全国的に見てどのくらいの水準なのか。

（回答）全国的に見れば平均的な数値であるが、政令指定都市の中では最下位。

（意見）下水道の整備だけで普及率100%を目指すのか。

（回答）人口密度の高い地区は下水道、そうではない地区については合併処理浄化槽というように考えている。人口割合で言えば下水道85%、合併処理浄化槽15%と考えている。

（意見）立地適正化計画や都市計画と連携をしながら進めてほしい。

（回答）了解した。

（意見）下水道を整備する地区について

- ・下水道を整備する85%の地区は決まっているのか。
- ・何ヵ年で行うという方向性も決まっているのか。
- ・立地適正化計画ができれば、その内容を加味することもあり得るか。

（回答）

- ・下水道を整備する区域の最終形としては市街化区域全域である。
- ・人口密度の高いDID地区を中心に10ヵ年で重点的に整備を進める。
- ・立地適正化計画によって公共下水道による整備がふさわしいという地区がでてくれば整備エリアを変えることもあり得る。

○審議結果 事後評価内容を承認。

以下余白